

10・11三里塚-第12回定期大会-天皇訪沖阻止圧殺のための 千葉県警による不当家宅搜索弾劾

日刊
動労千葉

87. 10. 7

No. 2672

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・八公衆）〇四七二（二二）七二〇七

怒りをバネに10月闘争の大爆発を

不当家宅搜索に対する抗議声明



動労千葉の闘いにおいつめられ、まったくデタラメな搜索を強行しようとする私服。（動力車会館において）

十月六日、八時すぎ、千葉県警警備二課と船橋西署は、動労千葉本部および津田沼支部、幕張支部組合事務所に対し、動労千葉とは何ら関係のない八月二九日の「嶋田襲撃事件」を口実として、「被疑者不詳」というまったくデタラメな搜索命令をもって不当極まる家宅搜索を強行した。

今回の不当家宅搜索は、第一に、動労千葉が四月一日以降、権力・当局・鉄道労連革マル一体となった強権的労務支配を打ち破り、その最大の攻撃の環である強制出向攻撃を、スト権の確立を軸とした実力反撃で追いつめていることへのあせりから行われた弾圧策動である。

とりわけ、動労千葉が、この十六・十七日に予定している分割・民営化後はじめての第十二回大会の破壊を目論んで、準備の最中を狙ううちに急襲したものである。

第二に、「この家宅搜索は、十月十一日に予定されている三里塚現地集会对する先制打として行われたものです」（日本テレビ）とマスコミですら言わざるを得なかったように、三里塚二期強行攻撃の一貫として、三里塚闘争への政治的弾圧を目的として行われた不当弾圧なのである。

第三に、沖縄県民の反戦闘争の圧殺と天皇制の復活を目的とした、戦犯天皇の沖縄訪問攻撃への政治的弾圧である。

現在、全国各地で、まったくデタラメな理由をもって、労働運動や市民運動家、文化人、宗教者、農民運動家など闘う人士への家宅搜索攻撃の嵐が吹きあれている。警察権力は「被疑事件」とまったく関係ないことを百も承知して、理由など何でもいから力づくで押し潰せという戦前の特高警察的弾圧に踏み出したのである。動労千葉への今回の家宅搜索もこのような横暴の下に強行されたのである。このことは、搜索のやり方を見れば一目瞭然である。「被疑者不詳」とはまさに、権力が好き勝手に解釈すれば誰でもどこでも搜索できるようなものであり、動労千葉が「嶋田襲撃事件」とは一〇〇%関係ないことを権力自らが認めているのである。

しかも、「押収」した物は、「日刊動労千葉」、青年部大会議案書、国鉄労働者交流会ニュースなど、「嶋田事件」とは何ら関係ない、どこでも手に入るピラ類十数点だけである。こうした事実ひとつをとっても、搜索がいかにデタラメなものであったかが明らかではないか。

いかに権力が、機動隊や私服の暴力支配をもって動労千葉を弾圧しようとしたところで、わが動労千葉は微動だにしない。逆にこの怒りをバネにして「10・11三里塚」へ職場丸ごとの決起をかちとり、続く第十二回定期大会で闘う方針の圧倒的確立をかちとり、大会を大成功させるものである。そして、天皇の沖縄訪問に怒りを燃やす沖縄県民とともに闘いに立ちあがるものである。

動労千葉は、今回の不当家宅搜索に対し、怒りをこめて徹底的に弾劾するとともに、権力のいかなる弾圧にも屈することなく勝利するまで闘いぬくものである。

右、声明する。
一九八七年十月六日

国鉄千葉動力車労働組合